

## タンザニアにおけるコンゴ・ブルンジ難民支援事業

活動期間：2009年4月4日～2010年3月14日

報告者：知野見優紀子

ブルンジとタンザニアの国境沿いに設営された3つの難民キャンプでの病院事業に、ヘルス要員として11カ月間携わりました。1つの難民キャンプに四万人近くの人々が生活しており、キャンプ内での医療のニーズは高く、入院ベッドが不足する事態もしばしばでした。マラリアやコレラ、腸チフスなど亜熱帯地域特有の疾患が多く見られ、日本での疾患とは大きく異なり、感染症対策、衛生教育の重要性を深く感じました。タンザニアにおいても住民たちによるボランティアの存在は大きく、難民キャンプ内で住民を巻き込んだ衛生教育や啓蒙活動など、地道な活動が疾病予防の基礎となっていました。戦争や紛争で母国を離れなければならない人々が少しでも減り、平和な自国で生活できるよう、今後も赤十字の幅広い支援が期待されています。

